



政策 5 自然・生活環境の景色

豊かな自然に抱かれた 安心して暮らせるまち



施策 1

源流や緑を守る環境保全の推進…………… 87

- 1 環境保全の推進
- 2 自然と調和した暮らしの推進
- 3 し尿・生活排水の処理



施策 2

持続可能な循環型社会の形成…………… 90

- 1 資源循環・適正処理の推進
- 2 省エネルギー・新エネルギーの推進
- 3 市民活動の促進
- 4 やつとみなりた 八富成田斎場の適正な運営





源流や緑を守る環境保全の推進

現状と課題

安心な暮らしを脅かす要因として、大気汚染・水質汚染などの問題があります。私たちの生活には、きれいな空気や水、生物多様性が不可欠であり、まちづくりに当たっては自然環境との調和を常に考えなければなりません。

本市の面積の約91%が市街化調整区域となっており、無秩序な開発が抑制されています。大気質は環境基準を満たしているものの、河川水質は一部の地点において、近年、環境基準を満たしておらず、市民や企業等に対して継続的な啓発活動が必要です。

また、水質汚染を抑制するには、市民の暮らしの中で発生するし尿や生活排水を適正に処理する必要があるため、公共下水道や合併処理浄化槽などによる処理を推進する必要があります。

更に、民学産官の連携により、富里の原風景とも言える緑豊かな自然環境の再生を推進することが必要です。

施策の方向性

自然環境と調和した暮らしは本市の利点であり、美しい緑を後世に残すため、行政はもとより、一人ひとりが意識を持って取り組んでいかなければなりません。現存する自然の保全を図るとともに、公害防止や暮らしの中のエコの普及啓発活動を推進します。

施策の展開

1 環境保全の推進

施策No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する主なSDGsゴール
1-①	環境保全の推進	市民と事業者、行政が果たすべき役割などを盛り込んだ環境基本計画を推進するとともに、適宜見直しを行い、環境保全のための施策を総合的、体系的に推進します。	
1-②	自然環境の保全と市街地の緑化の推進	富里の個性である貴重な自然を守るために、農地や森林、地下水の保全施策や市街地、公共施設の緑化を進めるとともに、市民の意識を高め、市民との協働により、地域の緑化、森林の管理や保全を推進します。	

施策 No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する 主なSDGsゴール
1-③	生物多様性の 保全	動植物の生息・生育する環境を保全する活動を推進するとともに、外来種の情報提供・防除活動、ペットの適正な飼育方法についての啓発を行います。	
1-④	公害の防止	公害を発生させる事業者等に対し、公害防止関係法令に基づき、適切に指導等を行い、市民の健康を保護するとともに、生活環境を保全します。	

2 自然と調和した暮らしの推進

施策 No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する 主なSDGsゴール
2-①	自然とふれあ う機会の創出	自然観察会の実施や親水空間の整備、グリーンツーリズムの促進などにより、市民が自然とふれあう機会を創出します。	
2-②	学校ビオトー プの活用	学校ビオトープを学校教育に取り入れ、児童・生徒が自然に親しむ機会を創出します。	
2-③	富里の原風景 の再生	谷津や生態系など、失われた自然の再生を推進します。	

3 し尿・生活排水の処理

施策 No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する 主なSDGsゴール
3-①	小型合併処理 浄化槽の設置 促進	公共下水道の予定処理区域及び集中合併処理浄化槽処理区域以外の地域において、小型合併処理浄化槽の設置を促進します。	
3-②	集中合併処理 浄化槽の修繕 への支援	地域団体により管理運営されている集中合併処理浄化槽について、施設の老朽化に伴う適切な修繕への支援を図ります。	
3-③	家庭雑排水共 同処理施設の 適正な運用	家庭雑排水共同処理施設の適正な運用を図るとともに、公共下水道や合併処理浄化槽の普及等により目的を達成した施設については、順次廃止について検討を行います。	
3-④	し尿・浄化槽 汚泥の処理	印旛衛生施設管理組合での共同処理により、適正なし尿・浄化槽汚泥の処理を行います。	





施策の指標

施策 No.	施策の指標	現状値 (令和2年度)	前期基本計画の将来値 (令和8年度)
1-①	市民の富里市の環境に対する満足度	14.3%	増加
1-②	農地・森林面積	農地面積:2,574.3ha 森林面積:742ha	維持
1-③	ペットの適正な飼育方法について広報による 市民への啓発	1回／年	1回／年
1-④	騒音・悪臭等に関する苦情件数	96件	減少
2-①	環境保全に関する環境学習	0回／年	3回／年
2-②	学校ビオトープを活用し、教育活動を実施した 小学校数	2校	7校
2-③	市民の富里市の自然環境に関する満足度	17.7%	増加
3-①	小型合併処理浄化槽設置補助基数	29基	40基
3-②	集中合併処理浄化槽修繕に対する補助金の交付	実施	実施
3-③	稼働施設数	1施設	0施設
3-④	処理施設の適正な稼働	実施	実施





持続可能な循環型社会の形成

現状と課題

世界的に化石燃料の消費を抑制し、環境負荷を軽減するために、循環型社会形成が進められています。そのため、3R活動やゴミゼロ運動、不法投棄の監視を行うことで、適正な廃棄物処理による資源循環を推進する必要があります。また、持続可能な環境のために、地球温暖化対策を推進することも必要です。

ごみ処理については、一般廃棄物は市、産業廃棄物処理については千葉県から許可を受けた事業者にて行っています。こうした処理体制を維持しながら、ごみ等の減量化・リサイクルを図らなければなりません。そのためには、市民一人ひとりの環境に対する意識向上、意識改革を促すための取組が重要であり、適正なごみ処理や日常生活の中で行えるエコ活動の推進が必要です。

また、地球温暖化対策として、脱炭素社会^{*30}の実現を目指します。市民や企業等の温室効果ガス排出量削減の取組を促進するとともに、公共施設における新エネルギー導入を推進します。

施策の方向性

地球温暖化対策や化石燃料の消費抑制が求められる中、資源循環型の社会システムの構築に取り組んでいかなければなりません。そのため、3R活動など、暮らしの中で取り組むことのできるエコ活動の普及啓発等に努めます。

施策の展開

1 資源循環・適正処理の推進

施策 No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する主なSDGsゴール
1-①	資源循環の取組の推進	循環型社会の実現に向けて一般廃棄物処理基本計画を推進し、市民・事業者・行政がごみの発生抑制、再利用、再生利用の必要性を再認識し、協働の取組を進めます。	
1-②	資源循環システムの構築	ごみの分別区分の変更、資源化ルートの拡張などの取組を行うとともに、環境施設整備を推進します。 また、森林循環（伐って、使って、植える）することで、適切に管理された森林の増加につながるよう、木材利用の促進に努めます。	    

※ 30 脱炭素社会：地球温暖化の原因となる、温室効果ガスの実質的な排出量ゼロを実現する社会。





施策No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する主なSDGsゴール
1-③	廃棄物処理施設の運営管理	廃棄物処理施設の適正な運営管理と、循環型社会に向けた廃棄物処理の取組を行います。	

2 省エネルギー・新エネルギーの推進

施策No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する主なSDGsゴール
2-①	市内全域における温室効果ガス削減	市内の全域において発生する温室効果ガスの削減を促進します。	
2-②	公共施設における温室効果ガス削減	市内公共施設において発生する温室効果ガスの削減を促進します。	
2-③	太陽光発電設備の導入推進	建物の屋根や屋上などへの太陽光発電設備の導入を推進します。	
2-④	とみさとエナジーによる電力供給効率化	合同会社とみさとエナジーにより電力供給の効率化を図り、その効果額をまちづくりに還元します。	

3 市民活動の促進

施策No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する主なSDGsゴール
3-①	適正なごみ処理の啓発	ごみの分別や3R活動、食品ロスの抑制に関する啓発を行います。	
3-②	環境美化活動の推進	アダプトプログラム ^{※31} を推進し、市民とともに、環境美化活動を推進します。	
3-③	環境学習の推進	学校での体験学習や市民への環境講座を通じて、環境について学ぶ機会を提供します。	

※ 31 アダプトプログラム:アダプトとは英語で「～を養子にする」の意味。道路などの一定区間の公共の場所を養子にみ立て、市民が里親となつて美化活動（清掃）を行い、市がこれを支援する。

やつとみなりた
4 八富成田斎場の適正な運営

施策 No.	主な取組	取組の内容	施策に対応する 主なSDGsゴール
4-①	八富成田斎場の適正な運営	成田市、八街市と連携しながら、八富成田斎場の適正な運営に努めます。	

施策の指標

施策 No.	施策の指標	現状値 (令和2年度)	前期基本計画の将来値 (令和8年度)
1-①	市民1人1日当たりのごみ排出量	928.4 g	減少
1-②	紙・布類の分別収集開始による収集量	0 t	2,400 t
	森林再生面積【再掲】	0ha	6ha
1-③	資源化量	2,742 t	増加
2-①	市域の温室効果ガス排出量	381.8千 t-CO2	300千 t-CO2
2-②	市の事務事業に伴う温室効果ガスの排出量	3,470.9 t-CO2	3,000 t-CO2
2-③	住宅用省エネルギー設備設置補助件数	7件	50件(累積)
2-④	クリーンエネルギーの導入・拡大に向けた検討回数	—	12回
3-①	リサイクルフェア来場者数	中止 (令和元年度1,800人)	2,000人
3-②	アダプト登録団体数	65団体	70団体
3-③	リサイクルに関する環境学習	0校	7校
4-①	八富成田斎場長寿命化計画に基づく施設改修	実施	実施

